



正・副議長決まる

5月臨時会において正・副議長が決まりました。



副議長
山田 朱美



議長
神田 省明

就任にあたって

市民の皆様へ
市民の皆様へ就任のご挨拶を申し上げます。

市政の推進につきましては、日頃より市民の皆様方の深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、平成22年第2回藤岡市議会臨時会におきまして、議員各位のご推挙により私どもが議長・副議長に就くことになり、その重責と使命の重大さを痛感しております。

先に行われた参議院議員通常選挙により、与野党の勢力は逆転しており、今後国政は予断を許さない状況です。

藤岡市議会といたしましては、国政の方向を見極めつつ、これまで以上に、市民の皆様と共に住みよい藤岡市にするため、市民の立場に立った公平公正な判断をしていきたいと考えております。

なにとぞ、市民の皆様のご指導とご支援をお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

6月定例会のあらまし

定例会は、6月2日から6月15日まで14日間の会期で開催されました。
藤岡市市営住宅設置条例の一部改正についてなど15議案、議員提出議案3議案が提出されました。

- ◇ 2日＝本会議、会期の決定。市長提出議案9議案を即決。
- ◇ 4日＝経済建設常任委員会、教務厚生常任委員会。
- ◇ 10日＝本会議 一般質問。
- ◇ 15日＝本会議 追加議案6議案、議員提出議案3議案を即決。



かな川水辺の楽校 完成式

子宮頸がんについて

湯井 廣志

問 今、若い世代に急増し、女性の8割は感染すると言われている子宮頸がん。女性のがん死亡率では一番高く、発症率も高い。助かったとしても、子供の産めない体になってしまふ。全国でも毎年1万5000人が発症し、3500人が命を落としている。これを食い止めるのはワクチンの接種しかない。若いうちにワクチンを接種すれば抗体が

トは助かると言われている。若年層で11歳から14歳へのワクチン接種が最も予防に効果が高いと言われている。全国でも、たくさん自治体が補助を始めている。しかしこのワクチンは3回接種しなければならず、費用も5万円から6万円もかかり、保険もきかない。人口減少社会と言われている中で、このがんによって子供の産めない体になれば、人工増加策を掲げる藤岡市にとっては大问题ではないでしょうか。早急に対応するために、無料のワ

クチン接種を藤岡市独自で始めるべきであると考えますが伺います。

答 接種費用が3回分で5万円から6万円と高額でありますので、今後県内他市の状況、さらに国の動向を踏まえ検討して行きたいと考えています。



ワーキング・プア対策について

問 きちんと働いていながら低収入しか得られないいわゆるワーキング・プアの方々がいます。市役所の中を見回した時、市職員は時給が平均2100円、方や臨時・嘱託職員は3分の1の時給7、800円です。長年臨時や嘱託職員をやっていると、職員より行政の分かる人、仕事が出来ない人もいます。嘱託や臨時職員がいないと回っていかない職場もある。そういう中で今、

全国の自治体で嘱託や臨時職員でも、ベテランの度合いによって給料を上げて行く昇給制度が増えて来ている。そういうことを考えた時、藤岡市でも始める考えがあるのか伺います。

答 議員ご指摘のように、勤務状況等を考慮して支給している市もありますので、今後検討してまいります。

野生鳥獣の被害について

岩崎 和則

問 群馬県鳥獣被害対策支援センターとの連携と市の鳥獣被害防止計画について伺います。

答 藤岡市鳥獣被害防止計画は、平成20年度から平成22年度までの期間で計画しており、捕獲体制の強化については、群馬県が定めた第10次鳥獣保護事業計画に基づき編成された捕獲隊員が捕獲に従事し、また、わな猟免許所持者の被害農林事業

者と捕獲隊員が連携するとしている。平成22年4月1日より群馬県第10次鳥獣保護事業計画が一部改正され、農業従事者も大型獣のイノシシ、ニホンジカを捕獲することが可能となり、現在、群馬県が農業従事者のわな猟免許取得のために開催している講習会等により、取得者が増えることは、体制強化につながっていくと考える。カワウの捕獲は、県の許可が必要となるが、鮎川湖を主に捕獲隊による駆除を行っている。また、被害が多い

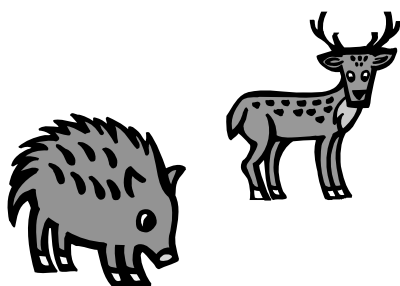
と想定される地区について、本年度一斉駆除を行った。対象種類としては、イノシシ、シカである。

問 被害農業者同士の情報交換や農業従事者との更なる連携、隣接自治体間の連携も重要になってくる。また、根本的に鳥獣が侵入しにくい生息環境の整備、また、鳥獣の保護の観点からの配慮、さらに人材育成については、非常に専門的研修が必要であるので、県の援助、連携の強化が必要と思われるが、藤岡市の見解を

伺います。

答 駆除や防除対策の強化が必要と考えている。今年度実施した重点地区の一斉駆除は引き続き行いたい。また、今年度より、農業従事者による捕獲が可能となったため、農業従事者との連携・強化を推進し、群馬県鳥獣被害対策支援センターと連携を図りながら、被害対策指導者の育成・現地対応力の強化を進め、地域ぐるみで実効のある対策を実施したい。野生鳥獣については、行動範囲も広く、

隣接市町村との連携も今後必要となってくるので情報交換・連絡体制が取れるよう検討していきたい。



指定管理者制度

について

渡辺 新一郎

問 この制度の目的について伺います。

答 平成15年の地方自治法の改正により、公の施設の管理運営を管理委託制度から指定管理者制度に移行し、民間事業者の能力を広く活用し、住民サービスの向上と経費の削減を図る事を目的としています。

問 制度導入により、どの

くらい経費の削減がされたか伺います。

答 直當時の決算額と平成22年度当初予算を比較すると、ららん藤岡は、約1200万円、市民プールは、約1700万円、土と火の里公園は約1300万円の削減が図られています。

問 現在の指定管理者数と今後の指定管理施設について伺います。

答 現在36の指定管理施設を28の指定管理者に委

託している。今後は、庚申山総合公園、藤岡総合運動公園、中央公園、毛野国白石丘陵公園、神流川緑地、浄法寺スポーツ公園、鬼石総合グラウンド、かたらい広場、小平河川公園の9施設について指定管理者制度の活用を考えています。

問 指定管理者制度のメリット、デメリットについて伺います。

答 メリットとしては、民間のノウハウが活かされサービスの向上や管理運

営の効率化が図られる。デメリットとしては、管理状況の把握が不十分になるおそれがあります。

公用車の管理運営

について

問 公用車の台数について伺います。

答 公用車総数は270台です。

問 保険会社は何社加入し、点検整備はどのように行っているか伺います。

答 社団法人全国市有物件災害共済会自動車損害共済と民間の損害保険会社で198件に加入。点検整備は、地域性を考慮し、偏ることのないようバランスよく、市内業者で実施しています。

問 市長公用車は今後ハイブリット車を導入していく予定があるか伺います。

答 平成12年式と古く、今後ハイブリット車を視野に入れ、検討していきたい。

学校教育について

窪田 行隆

問 不登校の子供が全国で増加し、その原因の一つに中1ギャップの問題があります。中学進学後の環境の変化に適応できず不登校になる例が多いようですが、藤岡市の取り組みを伺います。

答 藤岡市では中1ギャップ予防プログラムを作成し、小学6年生と中学1年生の2年間を小・中学校が共に考えていくという取り組みを行っており、

昨年度は西中学校区で行い、今年度は全ての中学校区で計画しています。

問 全国で始まっている小・中一貫教育を導入し、教育課程にまで踏み込んで小・中連携を進めるべきと考えますが伺います。

答 小野中学校区では一貫指導のための指導計画を立てて取り組んでいます。他の中学校区でも、小・中学校の9年間を見据えた取り組みを計画しています。

障がい者支援について

問 藤岡市の障害者就労支援センターでの就労継続支援はB型ですが、その作業内容と工賃の現状を伺います。

答 キャスターの組み立てなど所内受託作業が中心で、15名の平均報酬は月額6033円です。

問 B型では工賃の面で限界があり経済的自立は困難です。A型施設は障がい者との間で雇用契約を結び、一般就労に近い

仕事を行い、原則として工賃は最低労働賃金以上です。A型施設は数が少なく、同様の施設を含めても県内には前橋市と高崎市にしかありません。藤岡市もA型施設の開設を目指すべきと考えますが伺います。

答 障がい者の自立支援を考えた場合、A型施設は必要と考えるので検討していきたい。

問 障害者雇用促進法では、56人未満の企業は障がい者を雇用しても助成金が

出ないため、そこに市独自に助成することで障がい者の雇用を支援できます。藤岡市独自の障がい者雇用助成制度が必要と考えますが伺います。

答 障がい者にとって就職は最高の目標であり、社会生活に必要です。障がい者の特性から小企業に適している者もいて、障がい者の職域を拡大するためにも検討していきたい。



入札について

青柳 正敏

問 競争入札の目的達成のため、今日まで何を行い、今後どのような対応策があるのか伺います。

答 極力業者同士が接触しないよう郵便入札や電子入札の実施、指名業者の事後公表、一般競争入札の導入を行ってきた。また、公共工事における不正行為に対しては、談合情報対応マニュアルを定め、談合情報や疑わしい行為を把握した場合に

は事情聴取などを行い、談合情報等が明らかの場合、公正取引委員会等へ通報している。今後の取り組みとしては、不正行為の排除及び適正な工事施工の確保等に主眼を置き、公正な競争の促進、透明性の確保など入札制度の適性化へ改善を進めていく。

問 平成20年5月16日に執行された、4本の学校普通教室棟大規模改修工事の入札において、4本とも予定価格以内の入札は1社で落札率が99パーセント以上であり、こ

れは談合があつたという疑わしい行為だと思つう。藤岡市は財政非常事態宣言下にあり、市民の大切な税金であれば入札参加事業者に対し、良い物を安くの企業努力の要請をするべきだと思つうが伺います。

答 落札率が高い、予定価格内は1社のみの応札、落札という事だけで談合に結びつけるのは大変無理がある。

問 電子入札による効果について伺います。

答 インターネット利用により、書類作成業務や入札参加者が市役所へ出向く手間が省け、その結果、入札関連業務の迅速化、効率化、入札の透明性の向上と談合等の心配が軽減された。

問 入札制度は落札率に反映しなければ効果が出たといえないと思つうが伺います。

答 落札率が低いのがいいとは思つうが、業者も企業努力の中での応札であり、入札制度に反しない限り

業界への協力要請は難しいと思つう。

問 資源ごみの収集運搬業務委託事業は最低制限価格の詳細な公表をすべきと思つうが伺います。

答 資源ごみの収集運搬業務委託最低制限価格算定書は業務委託、役務の算定書であり、今後の収集運搬業務の入札等に公正かつ適正な執行を困難にするおそれがあり、公開しない。

中心市街地の整備について

茂木 光雄

問 都市再生整備計画と空き地対策について伺います。

答 総合学習センターの整備により発生した跡地等の問題ですが、旧図書館と教育研究所跡地は更地にした上で民間への売却を、武道館は今年度建物解体し、跡地は市民ホールの駐車場として整備する予定である。4月1日に廃園となつた北ノ原幼稚園は公立藤岡総合

病院に6月1日より貸し付けをしている。高山邸跡地は、現在暫定活用としてNPO法人あそびの学校に貸しており、子供たちやお年寄りが集う事により街中の賑わいや幅広い世代の交流に貢献されているので、今後は古桜町広場との一体的な整備を視野に入れて、中心市街地の活性化を図っていききたい。空き地対策については、藤岡市空地の清潔保持に関する取扱要綱により所有者の責務を定め、自らの責任において危険な状態にならない

よう維持管理に最善の努力をしなければならぬと定めている。

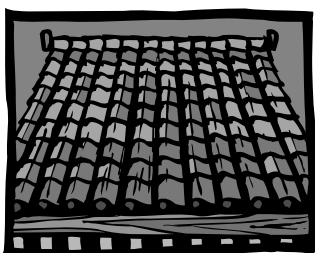
地域経済の活性化について

問 企業誘致と地場産業の育成について伺います。

答 企業の誘致活動については商工観光課内に企業誘致推進係を設置し、2名の係員が信用調査会社からのデータを活用し、アンケートや意向調査などを実施し、得られた情報をもとに担当職員によ

る企業訪問を行っているが、今現在決まっているところはない。地場産業の育成については、瓦産業や庭石業の振興を図るため、新商品や新技術の開発、販路の拡大、地場産品の普及等に補助制度を設けており、利用の実績がある。また、リサイクル製品の公共事業の使用については、地場産業の育成、振興の観点から製品の企画や構造等の内容を調査するとともに、市民が購入した場合等の補助制度についても併せて研究していきたい。自然環境に配慮し

た環境整備ということでは、公園等の歩道に、瓦の破片に何か手を加えて利用することもできると思つうので、内部で調整したい。



細菌性髄膜炎の予防 ワクチン接種について

斉藤 千枝子

問 髄膜炎は、昔は脳膜炎と言われ恐れられていた病気です。発症年齢は生後3カ月から5歳頃までが多く、発症すると約30パーセントが亡くなるか障害が残ります。髄膜炎の原因は約6割がヒブインフルエンザ菌b型で、約2割が肺炎球菌です。初期症状は風邪と見分けることが難しく、ワクチン接種が一番の予防策です。ヒブワクチンは4回の接

で費用は約3万円、肺炎球菌ワクチンは、髄膜炎の他、肺炎、菌血症、中耳炎などの予防にもなるが、4回接種で4万円となる。両ワクチンとも高額であり、子育て家庭にとつて大きな負担となるため、藤岡市として助成できないか伺います。

答 髄膜炎は予防接種では8割予防でき、先行投資が有効であると考え、藤岡市は乳幼児の予防接種実施医療機関が少なく、また、接種費用が高額なことなど検討事

項が多く、関係機関と協議検討していきたい。

高齢者の安全対策 について

問 心身がどのような状態になっても高齢者の人間としての尊厳は守っていかねばなりません。益々進む高齢社会においての高齢者虐待などの認識と対応について伺います。

答 いつまで続くかわからない介護を1人で抱え込み、心身共に疲れ果て、心ならずとも虐待してし



まうケースもあると思います。予防手段としては、1、小さな悩みでも地域包括支援センターに相談する。2、介護保険サービスや福祉サービスの上手に利用し、また、成年後見人制度や日常生活自立支援制度なども利用を勧める。

3、地域の人、同じ経験をしている人の協力を得ることだと考えます。また、未然防止、早期発見の 위해서는、関係機関による連携が必要と考えています。

問 徘徊探知機は徘徊高齢者の位置確認に有効です。基本料金を市で負担できないか伺います。

答 加入料金等は市が給付しているが、認知症高齢者に発信機を常時持つてもらおう工夫が必要です。また、料金については検討課題とします。

国民健康保険税 について

渡辺 徳治

問 国民健康保険税が値上げされて4年経ちましたが、市民の負担、収納率、資格証明書の発行、法定減免数はどのようになっているのか伺います。

答 平成19年度の改正により、被保険者に負担をしていただく国民健康保険税は、全体で14・6パーセント増加し、総額で約3億円の増額となりました。次に収納率は、平

成18年度現年分が91・93パーセント、平成19年度現年分が91・22パーセント、平成20年度現年分が89・45パーセント、平成21年度現年分が88・34パーセントを見込んでいます。次に資格証明書、短期被保険者証の発行情数は、平成18年度が資格証明書468世帯、短期被保険者証657世帯、平成19年度が資格証明書368世帯、短期被保険者証695世帯、平成20年度が資格証明書368世帯、短期被保険者証695世帯、平成21年度が資格証明書

370世帯、短期被保険者証741世帯です。次に国民健康保険税の減免の件数は、平成19年度が7件、平成20年度が13件、平成21年度が25件です。減免については国民健康保険法や藤岡市国民健康保険条例、藤岡市国民健康保険税減免取扱要綱に基づき行っており、内容は、市のホームページ等で閲覧できます。

問 厚生労働省は2008年10月の通達と、2009年9月の事務連絡で、経営難や失業など特別な事

情がある場合、資格証明書を発行してはならない。また、滞納理由を丁寧に把握するよう要請している。さらに、2010年3月の予算委員会では長妻厚生労働大臣は、資格証明書について、払えるのに払わないと証明できた場合以外は慎重に対応すると答弁している。藤岡市ではどのように資格証明書、短期被保険者証を発行しているのか伺います。

答 国民健康保険被保険者の特別な事情に関する資格者証の取り扱いにつ



いては、特別な事情があると認めるときは、その世帯に属するすべての被保険者にかかわる被保険者証を交付しています。

議案等審議結果＜5月臨時会＞

番 号	件 名	結 果
市長提出議案		
報告 1 号	専決処分の承認を求めることについて（藤岡市税条例の一部を改正する条例）	承認（全員一致）
報告 2 号	専決処分の承認を求めることについて（藤岡市都市計画税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例）	承認（全員一致）
報告 3 号	専決処分の承認を求めることについて（藤岡市過疎対策のための市税（固定資産税）の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例）	承認（全員一致）
報告 4 号	専決処分の承認を求めることについて（藤岡市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認（多数）
報告 5 号	専決処分の承認を求めることについて（平成 21 年度藤岡市一般会計補正予算（第 6 号））	承認（多数）
選挙、選任		
第 1 号	議長の選挙	（ 当 選 ）
第 2 号	副議長の選挙 経済建設常任委員会副委員長の互選	（ 当 選 ） （ 当 選 ）

議案等審議結果＜6月定例会＞

番 号	件 名	結 果
市長提出議案		
報告 6 号	平成 21 年度藤岡市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	報告
報告 7 号	平成 21 年度藤岡市下水道事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書について	報告
諮問 1 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なし（全員一致）
第 4 7 号	藤岡市市営住宅設置条例の一部改正について	可決（全員一致）
第 4 8 号	土地の取得について	可決（全員一致）
第 4 9 号	市道路線の廃止について	可決（全員一致）
第 5 0 号	市道路線の認定について	可決（全員一致）
第 5 1 号	平成 22 年度藤岡市一般会計補正予算（第 1 号）	可決（全員一致）
第 5 2 号	平成 22 年度藤岡市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第 1 号）	可決（全員一致）
第 5 3 号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意（全員一致）
第 5 4 号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意（全員一致）
第 5 5 号	工事請負契約の締結について	可決（多数）
第 5 6 号	工事請負契約の締結について	可決（多数）
第 5 7 号	市道路線の廃止について	可決（全員一致）
第 5 8 号	市道路線の認定について	可決（全員一致）
選挙		
第 3 号	多野藤岡広域市町村圏振興整備組合議会議員の補欠選挙	（ 当 選 ）
第 4 号	群馬県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙	（ 当 選 ）
議員提出議案		
第 2 号	農業農村整備事業関連予算の確保を求める意見書の提出について	可決（全員一致）
第 3 号	子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める意見書の提出について	可決（多数）
第 4 号	細菌性髄膜炎ワクチンの公費による定期接種化の早期実現を求める意見書の提出について	可決（多数）
請願		
第 1 号	子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める請願	採択（多数）
第 2 号	細菌性髄膜炎ワクチンの公費による定期接種化を早期に求める請願	採択（多数）
第 3 号	保育園設置許可を求める請願	不採択（少数）
陳情		
第 3 号	農業農村整備事業関連予算の確保を求める陳情	採択（全員一致）

◎掲載してある一般質問は要約してありますので、詳しくは藤岡市のホームページや、図書館・市役所相談室で会議録（9月上旬公開予定）をご覧ください。

市議会を傍聴しよう 問い合わせ 市議会事務局（☎ 221211 内線 2361）

議会は3・6・9・12月の定例会と随時の臨時会が開かれます。傍聴希望者は、市役所 2 階議会事務局前の傍聴人受付へ申し込んでください。

編集後記

梅雨明け後の猛暑の中、今年も鬼石夏まつり、藤岡まつりが活気あふれる市民とともに盛大に開催されました。また、今年の藤岡まつりには姉妹都市である羽咋市から市議会議員 8 名が来藤し、25 日の夜は山車の行進と手打ち式を、26 日には桜山公園、下久保ダムを視察見学していただき、交流を深めました。

6 月の定例会では、神流小学校、北中学校校舎の大規模改修建築工事請負契約の締結をはじめ、各議案の議決を行い、また、8 名の議員が一般質問を行いました。

今後も議会活動を分かりやすく伝え、親しみやすい紙面にしていきたいと思えます。市民皆様からのご意見もお待ちしていますので、よろしくお願いいたします。

委員長 湯井 廣志
副委員長 吉田 達哉
委員 松村 晋之
委員 窪田 行隆
委員 渡辺 徳治
委員 冬木 一俊
委員 佐藤 清
委員 反町